

# 核兵器のない世界へ

## 原水禁大会ニューヨーク代表団を励ます会

核拡散防止条約（NPT）再検討会議が米ニューヨークで開かれるのに合わせ、4月24、25日に現地で開催される原水爆禁止世界大会へ派遣する「県代表団（8名）を励ます会」が8日、松江市で開かれ、45人が参加しました。ヒバクシヤ国際署名をすすめる県民の会準備会の主催。



代表団7人が決意表明。松江生協病院の竹本耕司さんは「核兵器廃絶を求める運動は、世界の人々と手を取り合わなければならぬ時代になった。自分に何が出来るかを学んで活動に生かしたい」と訴え。（写真）斐川生協病院の福田全得（ま

さのり）さんは「大会に参加して学んだことを次の世代につなげていきたい」と話しました。

## 望月衣塑子が講演

東京新聞の望月衣塑子記者を迎えた講演会がこのほど松江市で開かれ、約300人が聴講しました。

望月氏は「メディアと日本の危機」報道の現場から」をテーマに講演し、最近の報道の中から「アメリカのイラン司令官爆殺事件は大義がない」と指摘。アメリカ国内からも、アフガンの軍事行動に批判が上

「桜を見る会」疑惑 解明されていない

## 望月衣塑子が講演

「桜を見る会」疑惑にふれ、安倍首相の閣僚、詐欺罪に問われている招待者など、疑惑は解明されていないと強調しました。

この間、菅官房長官の記者会見で記者に質問させない策動があったことについて「報道関係者が立ち上がり、変化が起こっている」と報告しました。

## 赤旗の素晴らしさを広げたい

日本共産党第28回大会に出席。普段、中にくいのですが、あらためてこの党としんぶん



大平よしのぶ 前衆議院議員  
アツク やさしく

赤旗のすばらしさを様々な面から感じるのとができました。「『隠れ共産党宣言』から『入党宣言』へ」で一躍有名となった小松泰信・岡山大学名誉教授。新刊出版にむけた取材という立場で党大会に参加され、ゲスト発言されました。小松さんがまだ入党する前、しんぶん赤旗日刊紙の購読を決め、初めて紙面を開いた時のこと。赤旗にはこんなページがあるのかと衝撃を受け、それから毎日そこから読むんだと言います。それは党員のお悔やみ欄。「共産党の一人ひとりの党員に対するリスペクトを感じました。全国にこ

んな人がいて、こんなにかんばってこられたのかと毎朝、思いにふけります」と。発言はユーモアたっぷり爆笑の渦でしたが、その合間にはこんな話もあり、心が温まりました。「赤旗配達宣言」もした小松さんは、そんなしんぶん赤旗（日曜版）を一刻も早く読者の元へ届けねばと大会3日目の木曜日に取材を終え、地元の岡山に帰っていかれました。青森の代議員も赤旗について発言をされました。ローマ教皇の広島・長崎でのスピーチを掲載した日刊紙を持って青森市内のカトリック教会に訪問すると、皇のスピーチ全文が載っているものを探して

### 新春対談

大平 そうなんです。それからもう一つ感動したことがあります。この会議は、議長を務めたエレン・ホワイトさんという方がコスタリカの外交官でして、そういう小さな国々の人たちが会議を仕切り、堂々と意見を述べている。逆にアメリカやイギリスなどの核大国は会議に参加せず外のロビーで、「核兵器禁止条約なんて賛成しないよ」と記者会見を細々とやっているんです。この姿がおかしかったですね。もう大国が大きな顔をして世の中を動かすような時代ではないんだな、すべての国が対等な立場で大いに意見を述べたい、そして道徳と熱意の力こそが物事を前に動かしていくんだという光景を目の当たりにしてきました。

小林 そうなんだ。世界がそうやって核廃絶に向かっているんだから、安倍総理もトランプさんみたいなことを言われようが、「わしの国は原子爆弾落とされた国だから」と言ってしまう。実際はアメリカから言われるままじゃないですか。アホみたい。

昨年11月にローマ教皇さんが来られたでしょ。「もう核兵器絶対に廃絶しよう」といっていらしたのになんか、なんだから他人事みたいな感じで「核兵器のない世界へ、ナンチャラカンチャラー」って言うてましたでしょ。ほんま腹立つ。

大平 そんなだから被爆者から「あんたはどこの国の総理大臣なのか」と言われるんですよ。僕も国会議員時代、何度も安倍政権と核兵器廃絶問題で論戦してきました。2015年に初めて国会に送っていただき、初めての国会質問は必ず被爆者の声を代弁するんだと決めていました。

小林 ありがとうございます。

### 被爆75年 核兵器禁止条約に 署名・批准する政府を③

## 小林愛子 大平喜信

小林愛子(こばやし あいこ)さん 広島で爆心地から1.5kmの自宅で被爆。現在81歳。兵庫県加古川市在住。元プロ野球選手の張本勲さんのお姉さん。小学校などでの被爆体験の語り部や「ヒバクシャ国際署名」も先頭にたって奮闘中。

小林 愛子さん、お久しぶりです。お元気ですか。お話を聞くと、被爆体験の語り部として、先頭にたって奮闘されていることがよく伝わってきます。お話を聞くと、被爆体験の語り部として、先頭にたって奮闘されていることがよく伝わってきます。お話を聞くと、被爆体験の語り部として、先頭にたって奮闘されていることがよく伝わってきます。

大平 初質問は衆議院予算委員会です。菅官房長官や広島1区選出の岸田外務大臣などと論戦をしました。核兵器廃絶の問題とともに、原爆の被害によって重い病気にかかっているということを確認しようという原爆症認定の問題、さらに被爆者なのに被爆者だと認めようという「黒い雨」の問題をとりあげました。政府は黒い雨は大変狭い範囲でしか降っていないと不当な線引きをしているんです。広島市は綿密に調査し、政府が定めた範囲の6倍の地域で黒い雨が降ったと発表し、黒い雨被害者も繰り返し詳細な証言をしているにもかかわらず、政府は「あなたの病気は原爆を受けたという思い込みからくる心理的ストレスによるもの」「だからカウンセリングを」と言うのです。本当に許せません。その後も毎回の国会で核兵器と被爆者の問題を取り上げ続けてきました。

小林 それにしても安倍さんはひどいわね。「桜を見る会」なんてわがまま放題の遊びじゃない。証拠も全部シュレッダーで廃棄してほんと信じられん。ウソも平気でつくし。私は学校で被爆体験を話す時、必ず話の最後に「正しい人間になって生活してね」と言っているの。「正しい」という言葉の中には「ウソついたらダメよ」とか「悪いことしたらダメ」とか当たり前だけ大事なことを込めているつもり。安倍総理みたいな人間になつたらダメ。大平さん、頑張ってください。（終わり）